

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	25220602	研究期間	平成 25 年度～平成 29 年度
研究課題名	完全制御カーボンナノチューブの物性と応用	研究代表者 (所属・職) (平成28年3月現在)	片浦 弘道（産業技術総合研究所・ナノ材料研究部門・首席研究員）

【平成 28 年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる	
A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる	
○	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>本研究は、単層カーボンナノチューブ（SWCNT）の精密構造分離を数 10 mg のスケールで実現すること及び、SWCNT の単結晶を作製し、高圧印加により新たな炭素固体相の創出を目指すものである。前半は、エナンチオマー分離において世界トップレベルの成果が得られている。</p> <p>一方、もう一つの目的である単結晶の合成とその物性研究では、研究の進捗に遅れがあると判断される。今後、後半の目的に対して研究を進めるとともに、応用研究への展開が望まれる。</p>		